

# 令和4年度 第1回亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会

と き：令和4年11月7日(月)

午後1時30分から

ところ：亀岡市役所 別館3階 会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 委員紹介

### 3 協議事項

#### (1) 正副会長選出

#### (2) 亀岡市いきいき長寿プラン、亀岡市いきいき長寿プラン

推進協議会の趣旨・概要について

資料1

#### (3) 第8期亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について

資料2-1

別紙

資料2-2

#### (4) 第9期亀岡市いきいき長寿プランの策定スケジュール

資料3

#### (5) 高齢者等実態調査について

資料4

資料5

資料5-1

資料5-2

#### (6) その他

### 4 閉 会

## 「亀岡市いきいき長寿プラン」について

### ○亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会について

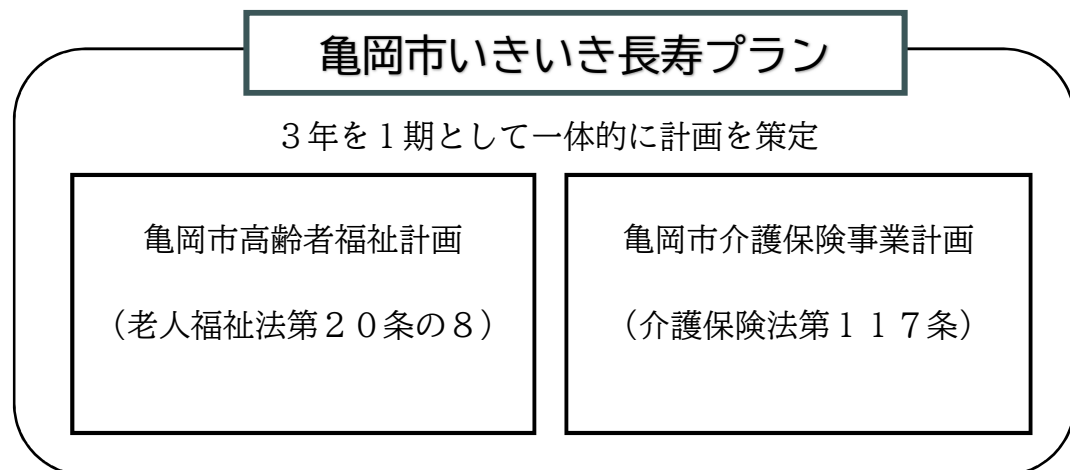
本市では、高齢者が健康でいきいきと暮らすための総合的な計画の推進を図るため、学識経験を有する者、保健・医療・福祉等の関係者、市民の代表、行政機関の関係者等の方を委員とする亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会を設置し、①高齢者の保健福祉等に係る計画策定に関する事、②高齢者の保健福祉等に係る計画推進に関する事などについて協議をしていただいております。

任期：2年

→亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会設置要綱（平成20年告示第7号）  
＜いきいき長寿プラン P137＞

### ○「亀岡市いきいき長寿プラン」の位置づけ

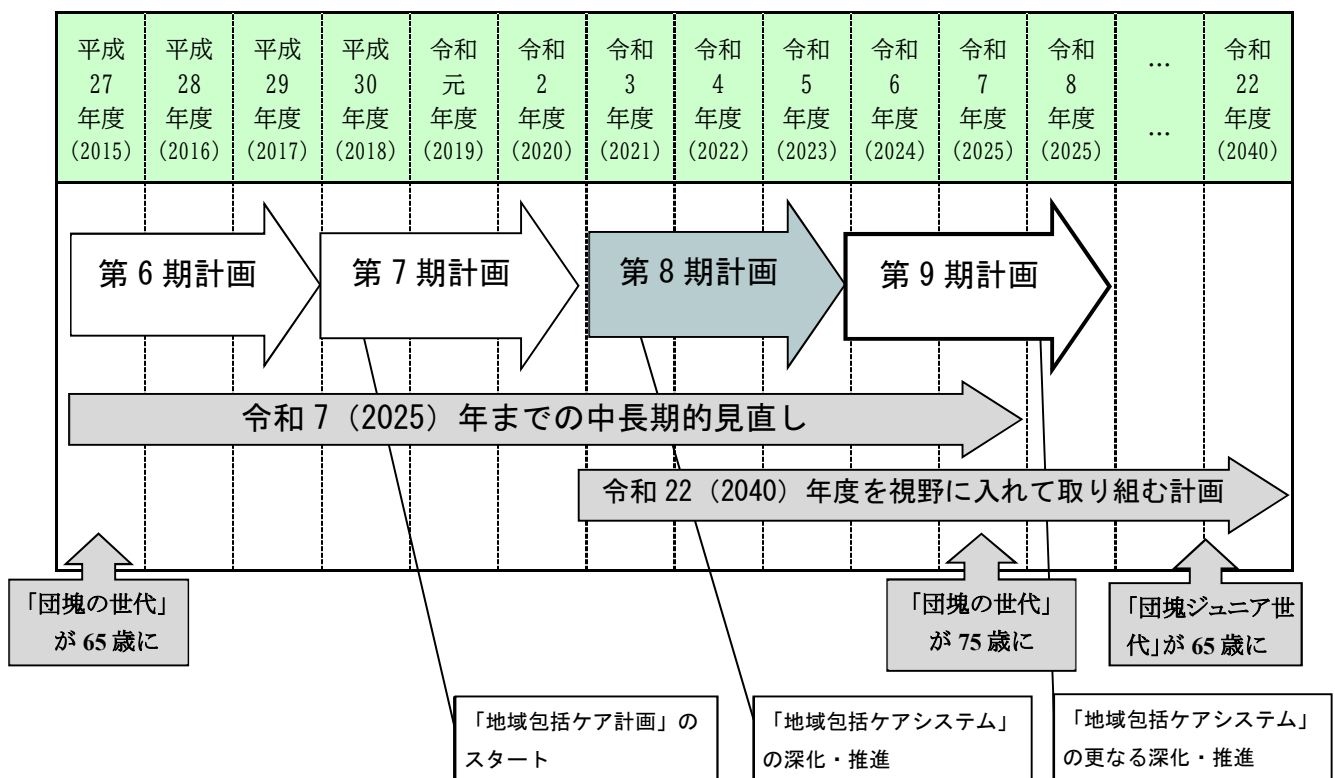
「亀岡市いきいき長寿プラン」は、老人福祉法第20条の8に規定する「老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業の供給体制の確保に関する計画（市町村老人福祉計画）」と介護保険法第117条に基づく「市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画（市町村介護保険事業計画）」を一体のものとして策定することで、介護保険及び福祉サービスを総合的に展開することをめざすものとして、3年を1期として計画しています。



## ○次期計画に向けた国の動き

国は、第6期計画からは、「団塊の世代」の方全員が75歳となり介護需要が大幅に増加するとされている2025年を見据えた、「地域包括ケア計画」として位置づけ高齢者が住み慣れた地域でその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)を構築することを示してきました。また第8期計画からは、団塊ジュニア世代が65歳以上に到達し、高齢化が進展すると予想される2040年を見据えた地域共生社会の実現を図っていくことを示してきました。

次期(第9期)計画に向けては、地域包括ケアシステムを更に深化・推進するとともに、介護ニーズの増大と労働力の制約への対応を両立させ、制度の持続可能性を確保するという視点で検討が行われる予定です。



令和4～5年度 亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会 予定（案）

	日 時	内 容
令和4年度 第1回	11月7日（月）	①正副会長選出 ②亀岡市いきいき長寿プラン、亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会の趣旨・概要について ③第8期亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について ④第9期亀岡市いきいき長寿プランの策定スケジュール ⑤高齢者等実態調査について
第2回	3月下旬頃	①高齢者等実態調査の結果の概要について ②第9期亀岡市いきいき長寿プラン策定について
令和5年度 第1回	7～8月頃	①第8期亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について ②第9期プラン素案について ③第9期介護保険サービスの見込みについて
第2回	パブコメ前 10月～11月頃	① 第9期プラン素案について （委員意見の集約）  ・委員意見をパブコメ提示案に反映させる。 ・会議開催又は書面による意見照会  ○パブコメは、12月頃に実施予定。
第3回	1月～2月頃	①第9期プランについて （パブコメの実施結果、第9期保険料について）

※令和5年第2回以降は、第9期プラン策定が主な内容になるが、その他の議事がある場合は加えることとする。

基本目標	施策の方向	基本施策(活動/アウトプット)	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段:目標値 下段:実績値		令和3年度				令和4年度		担当
				目標指標	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)(R4実施見込)	実施内容	自己評価	自己評価の理由・課題と対応策	実施内容	特記事項	
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(1) 相談体制・支援体制の強化(地域包括支援センターの機能強化)	① 総合相談支援の充実	4半期に1度以上の広報	広報	年3回	年3回	市広報誌掲載(4月号・7月号・12月号)	B		市広報誌掲載(5月号・9月号・11月号)	相談件数については、年度末集計のため、現時点では記入できない。	高齢福祉課 生活支援係
					年3回	年3回						
				相談件数(R3年度末)	17,777件	年度末集計						
		② 介護予防ケアマネジメントの充実	多様な社会資源に関する情報提供	プランナー1人につき社会資源をケアプランに採用するケース数	1ケース以上	1ケース以上	生活支援体制整備事業の一環として、地域カルテの作成	B		生活支援体制整備事業の一環として、地域情報誌(仮)を作成予定。		高齢福祉課 生活支援係
		③ 包括的・継続的なケアマネジメントの充実	各センターが開催する研修会・事例検討会の後方支援	各地域包括支援センターにおける年間開催数	年間1回以上	年間1回以上	10/29つづけ丘包括主催の研修会に参加	B		ヘルパー部会・デイ部会に対し、高齢者虐待研修を実施予定。		高齢福祉課 生活支援係
④ 3職種以外の配置を含めた適切な運営確保	機能強化職員等の配置	各地域包括支援センターにおける機能強化職員の配置人数	1名以上	1名以上	地域包括支援センター7か所に各1名ずつ機能強化職員を配置。	B		地域包括支援センター7か所に各1名ずつ機能強化職員を配置。		高齢福祉課 生活支援係		
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(2) 生活支援体制整備の推進	① 生活支援体制整備の推進	生活支援コーディネーターの設置	SC設置数(1層)	1人	1人	SC2人設置	B		1層SC1人設置 2層SC2人設置	当初2層SCとして亀岡市社協1人、市民団体2人合計3人で開始したが、市民団体1人が個人都合により9月に辞任した。今後の体制については検討中。	高齢福祉課 生活支援係
				SC設置数(2層)	1人	3人						
			集いの場の把握、担い手の発掘	集いの場の数	113か所	113か所	・亀岡市高齢者通い場支援事業の実施 ・亀岡市社会福祉協議会等、関係機関との情報共有	B		・亀岡市高齢者通い場支援事業の実施。 ・サロン主催者を対象に、サロンなんでも相談会を開催。		高齢福祉課 生活支援係
			就労的支援コーディネーター設置	就労的支援コーディネーター設置数	1人	1人	第1層SCと兼務で設置。	B		ボランティアポイント制度の検討。		高齢福祉課 生活支援係
			協議体の設置	1層協議体の数	1つ	1つ						
	2層協議体の数	1つ	3つ		B		・社会福祉協議会に1層協議体の運営、2層協議体の設置を委託。 ・地域包括支援センターと協働し、各地域で地域ケア推進会議を開催。	2層協議会準備会を1つ設置。今後の体制については検討中。	高齢福祉課 生活支援係			
		1つ	1つ									
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(3) 認知症施策の推進	① 認知症への理解を深めるための知識の普及啓発	認知症市民公開講座	開催回数	年1回	年1回	新型コロナウイルスの影響で、講座は実施せず、リーフレットの全戸配布を実施。	B	今後、高齢化に伴い認知症の人が増加することが予測されているため、今後も引き続き認知症の啓発活動を行っていく必要がある。	市民公開講座の代替イベントとして、9月8日に「知ってほしい、認知症のこと」を開催(参加者97人)		健康増進課 健康予防係
				参加者数	120人	120人	講座は新型コロナウイルスの影響で実施しないため、参加人数としては0人であるが、講座の代わりに認知症について周知するリーフレットの全戸配布を実施。	B	今後、高齢化に伴い認知症の人が増加することが予測されているため、今後も引き続き認知症の啓発活動を行っていく必要がある。		健康増進課 健康予防係	
			認知症カフェ	開催回数	年40回	年40回	認知症に関する相談支援及び初期認知症者への対応、認知症の人とその家族が集える居場所とした。	B	コロナ感染対策を行い、当事者に限らず家族の方にも居心地の良い場所となるようにした。また、利用者の家族同士が交流を図れるような場を設けた。	認知症に関する相談支援及び初期認知症者への対応、認知症の人とその家族が集える居場所とした。	R4から直営実施。	健康増進課 健康予防係
				のべ参加者数(年間)	80人	80人	認知症に関する相談支援及び初期認知症者への対応、認知症の人とその家族が集える居場所とした。	B	コロナ感染対策を行い、当事者に限らず家族の方にも居心地の良い場所となるようにした。また、利用者の家族同士が交流を図れるような場を設けた。	認知症に関する相談支援及び初期認知症者への対応、認知症の人とその家族が集える居場所とした。		健康増進課 健康予防係
			認知症サポーターの育成	サポーターの養成数(年間)	400人	400人	認知症高齢者を見守る体制づくりに向けて認知症サポーターの養成講座を開催した。	B	本市では、地域住民や商業施設、小学校など幅広い立場の人に広がっています。今後も認知症サポーターについて周知し、認知症の見守り体制づくりを進める必要がある。	認知症高齢者を見守る体制づくりに向けて認知症サポーターの養成講座を開催した。		健康増進課 健康予防係
		サポーター養成講座実施回数		年20回	年20回	認知症高齢者を見守る体制づくりに向けて認知症サポーターの養成講座を開催した。	B	本市では、地域住民や商業施設、小学校など幅広い立場の人に広がっています。今後も認知症サポーターについて周知し、認知症の見守り体制づくりを進める必要がある。			健康増進課 健康予防係	
		サポーター活動活動回数		年5回程度	年10回程度	コロナ感染が落ち着いた月から1名ずつ計2名の活動をお願いした。	B	交流希望の方の話を傾聴・会話をする姿がみられ、認知症ケアを知る場で実践してもらい効果はあったと思われる。	認知症カフェでのボランティアとして活動。		健康増進課 健康予防係	
		② 認知症支援体制の整備と関係機関の連携	認知症初期集中支援チーム	ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	100%	100%	100%	A		専門医の指導の下、認知症の包括的観察・評価に基づく初期集中支援を行うことができた。		健康増進課 健康予防係
					100%	50%						
			認知症高齢者事前登録制度	広報回数	年1回	年1回	広報誌1回	A	広報誌だけでなく、公式LINE等SNSも活用し、適切な時期に広報した。	広報誌への掲載		健康増進課 健康予防係
名簿更新回数	年1回	年1回		名簿更新1回	A	事前登録名簿を更新し、関係機関等に情報提供を図り、行方不明者が早期発見できるシステムづくりを推進した。	名簿更新1回		健康増進課 健康予防係			



基本目標	施策の方向	基本施策(活動/アウトプット)	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段:目標値 下段:実績値		令和3年度				令和4年度		担当			
				目標指標	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)(R4実施見込)	実施内容	自己評価	自己評価の理由・課題と対応策	実施内容	特記事項				
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(4)在宅医療・介護の連携推進	①在宅医療・介護の連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案	亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議の開催	会議の開催回数	概ね月1回	概ね月1回	Zoomでのオンラインで推進会議の実施。3部会活動を実施。	A	継続的に会議を開催した。	集合形式(一部Zoom開催あり)で推進会議及び2部会、1委員会の定例会議を実施。		健康増進課 健康予防係			
			関係者研修会(かもおか医療連携研究会)等の開催	開催回数	年3回以上	年3回以上	1回開催	B	コロナウイルス感染拡大の為、会場が使用できなくなった為、オンラインのみでの実施となった。		健康増進課 健康予防係				
		②地域の関係者との関係構築・人材育成	人材確保イベント(魅力発信フェア)の開催	開催回数	年1回	年1回	新型コロナの影響で、人材確保イベントは実施せず。	C	実施方法については検討。		健康増進課 健康予防係				
			市民への啓発活動の実施	講演会実施回数	年5回以上	年5回以上	1回開催	B	新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて減少。より多くの人に参加してもらうため、ZOOMで開催した。	「目で見てわかる在宅療養」「終活公演会」を各1回ずつ開催。		健康増進課 健康予防係			
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(1)介護予防・日常生活支援総合事業の推進	①介護予防・日常生活支援サービス事業の取組	介護予防・生活支援サービス事業	利用者数(訪問)	233人	242人		A			介護予防・日常生活支援サービス事業の介護予防通所介護相当サービスと介護予防訪問介護相当サービスを実施した。	令和4年8月審査分	高齢福祉課 介護事業所係		
				利用者数(通所)	210人	222人									
					389人	405人									
					366人	360人									
		②一般介護予防事業の推進	介護予防教室	開催回数	年70回	年70回	高齢者が健康な状態を維持しながら高齢者自らが運動器の機能向上をはじめとした介護予防教室を実施した。	B	教室に参加できない人には、LINEで「元気づくり体操カレンダー」を掲載することで、より多くの人が参加できるようにした。	高齢者が健康な状態を維持しながら高齢者自らが運動器の機能向上をはじめとした介護予防教室を実施した。		健康増進課 健康予防係			
				のべ参加者数(年間)	1,400人	1,400人	高齢者が健康な状態を維持しながら高齢者自らが運動器の機能向上をはじめとした介護予防教室を実施した。	B	教室に参加できない人には、LINEで「元気づくり体操カレンダー」を掲載することで、より多くの人が参加できるようにした。		健康増進課 健康予防係				
			体力測定事業	のべ参加者数(年間)	400人	400人	高齢者に自らの加齢に伴う体力及び認知力の経年変化に気付く機会を提供し、介護予防に対する意識向上を図る。	A	実施会場の予約を市が行うことで、年間スケジュールを調整し、全戸配布により広く参加者を募る計画を立てた。	高齢者に自らの加齢に伴う体力及び認知力の経年変化に気付く機会を提供し、介護予防に対する意識向上を図る。		健康増進課 健康予防係			
					427人	414人									
			「出前健康講座」	広報回数	年3回	年3回	広報誌2回	B	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、計画に沿った。広報誌だけでなく、公式LINE等SNSも活用し、適切な時期に広報していく。	広報誌3回		健康増進課 健康づくり係			
				介護予防拠点活動事業	実施場所の数	6か所	6か所	既存4拠点での介護予防活動に加え、モデル事業として新たに2箇所での介護予防活動を実施した。	B	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止があった。	既存4拠点での介護予防活動に加え、モデル事業として新たに6箇所での介護予防活動を実施した。	年度末まで実施予定。実施場所の数はモデル事業後実施分も含む。計画目標達成見込。	高齢福祉課 高齢者係		
	のべ参加者数	2,160人	2,544人		1,720人	1,812人(9月末)									
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(2)健康づくりの推進と介護予防の一体的な実施	①健康づくり支援の充実	健康づくりの普及啓発	健康イベント(健康いきいきフェスティバル)の開催回数	年1回	年1回	健康いきいきフェスティバルは新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて実施できなかった。	B	健康いきいきフェスティバルは実施できなかったが、公式LINEや実施した保健事業等を通して啓発を行った。感染症対策を講じ、あらゆる世代に向けての健康づくりの啓発の機会として実施する。	健康いきいきフェスティバルは新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて実施できなかったが、10月にガレリアかめおかにて一週間展示し、健康情報等の啓発を行った。		健康増進課 健康づくり係			
				各種健診	特定健診の受診率が現状より増加する	増加	増加	各種がん検診(個別・集団)特定健診(個別・集団)生活習慣病健診	B	新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて減少。感染予防対策を講じ、受診機会の確保・受診啓発を行う。	各種がん検診(個別・集団)特定健診(個別・集団)生活習慣病健診		健康増進課 健康づくり係		
			健康教育・健康相談	健康相談開催回数	年12回	年12回	健康相談5回	B	新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて開催回数は減少したが、新たな取り組みとして、地域のスーパーへ出向き健康相談を実施した。今後も効果的な開催場所、方法について検討していく	健康相談5回		健康増進課 健康づくり係			
		②高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	通いの場への支援	支援対象となる「通いの場」の数	5か所	5か所	6か所	A	新型コロナ感染症がまん延したため、実施していた通いの場が減少している。今後どのように通いの場へ支援するのが適切か検討。			健康増進課 健康予防係			
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(3)高齢者の活動支援(生きがいづくり)	①活動機会の拡充	老人クラブ	老人クラブ会員数	2,200人	2,200人	高齢者の生きがいと健康づくりのため、単位老人クラブとの連携を強めるとともに、その運営を支援した。	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、活動ができない単位老人クラブが増えて、会員数増加ができなかった。亀岡市老人クラブ連合会との連携を強めるため、協議の回数を増やして、会員数増加のための活動を支援する。	定期的な亀岡市老人クラブ連合会との懇談	単位老人数が48クラブ→37クラブになった。1クラブほど休会されている。	高齢福祉課 高齢者係			
				生涯学習等	亀岡市さわやか教室(実施日数)	5日	5日	第1講座「お米を食べようー里の生物の多様性を守るために」講師 京都府立大学文学部 特別専任教授 釜のくに地球環境史ミュージアム館長 佐藤 洋一郎 さん	AA	第2次教育振興基本計画に基づき、令和4年度以降は、各講座受講者に対し、受講後に「講座を通じて、日々の生活に活かしたい具体的な内容が得られたか」をアンケートする予定である。そのアンケートで「日々の生活に活かしたい具体的な内容が得られた」と答えた人の割合が80%以上を目指し、より充実した学習機会の提供を目指す。	第2講座「備津川下りの歴史と守るべき自然」講師 元京都大学東アジア地域研究所研究員 NPO法人プロジェクト保津川 副代表理事 亀岡市文化保護委員 保津川遊船企業組合代表理事 豊田 知八 さん	第3講座「カラダは食べた物	亀岡市さわやか教室(のべ参加者数(年間))	1,000人	1,000人
					339人	257人(9月末)									
			三大シンボル講座(コレージュ・カメオカ、生涯学習市民大学、丹波学トーク)のべ参加者数		3,990人	4,060人	コレージュ・カメオカは延期生涯学習市民大学は7回開催 丹波学トークは3回開催	B					新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため延期、中止した事業が多く、参加者数が減少した。新型コロナウイルス感染症の感染リスクから会場に大人数が集まるのを避けるため、コレージュ・カメオカ等をオンライン配信を併用した形で実施する。	コレージュ・カメオカは1回開催 生涯学習市民大学は4回開催 丹波学トークは1回開催	市民力推進課
			生涯スポーツ事業参加者		4,855人	5,010人	市民がスポーツを実施する機会を提供し、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくりを促進した。(亀岡市民スポーツフェスティバル ほか7件)	C					新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言等が発出されたため、中止とした催事が多く、目標が達成できなかった。市民が誰でも気軽に参加できる事業を推進した。コロナ禍であったが、完全な中止はできない限り、手指消毒や参加人数の制限等の対策をしながら、子どもから高齢者までの自主的・継続的なスポーツライフの実現に向けサポートした。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、事業規模の見直しや屋外での実施等の工夫をしながら、あり方を再検討することが今後の課題である。	市民がスポーツを実施する機会を提供し、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくりを促進	生涯スポーツ課
			老人福祉施設(介護予防センター)の活用促進	使用日数	370日	370日	高齢者の生きがい活動を支援し、介護予防事業の実施並びに介護知識及び介護予防の普及を図るため、亀岡市介護予防センターを設置し、自治会と指定管理の協定を締結し管理している。	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言等が発出されたため、団体の施設利用日数が減少し、利用者数が減少した。		高齢福祉課 高齢者係				
				のべ利用者数	4,900人	4,950人	2,066人	1,656人(9月末)							
			外出促進(敬老乗車券の販売)	販売冊数	3,000冊	3,000冊	市内の公共交通機関を利用する機会が多い高齢者の移動手段の確保及び外出促進並びに市内の公共交通機関の利用促進と地域格差の是正を目的として、市内に居住する70歳以上の高齢者を対象に市内全域で利用可能なバス乗車券、タクシー乗車券を販売します。	C	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外出を控える高齢者が増加し、販売冊数が伸び悩んだ。サービスガイドブックでの紹介ページの新設、案内チラシの発行を増加し、よりいっそう広報活動を積極的に行う。	公共交通機関を利用する機会が多い高齢者の移動手段の確保及び市内の公共交通機関の利用促進を目的として敬老乗車券を販売する。	高齢福祉課 高齢者係				
				購入者数	1,884冊(9月末実績)	1,800人	1,176人(9月末実績)								
				会員数	640人	660人	高齢者の知識や経験を活かした就労機会を確保し、就業を通じた生きがい創出と社会参加を促進するため、公益社団法人亀岡市シルバー人材センターに運営補助金を交付します。	B	運営補助金の交付	高齢福祉課 高齢者係					
	受注件数	6,200件	6,300件	5,499件	2,902件(9月末実績)										

基本目標	施策の方向	基本施策(活動/アウトプット)	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段:目標値 下段:実績値			令和3年度				令和4年度		担当
				目標指標	令和3年度 (2021)	令和4年度(2022) (R4実績見込)	実施内容	自己評価	自己評価の理由・課題と対応策	実施内容	特記事項		
基本目標3 高齢者の安全・安心な暮らしを支える体制づくり	(1) 権利擁護の促進	① 高齢者虐待の防止	早期発見・防止に向けた取組	専門職等への周知及び市民への啓発	年1回以上	年1回以上	・周知、啓発については、令和4年1月11日に亀岡市役所LINE公式アカウントのトークに投稿。 ・高齢者虐待ネットワーク会議は、令和4年3月22日実施。	A		健康・高齢者福祉ガイドブックに高齢者虐待防止について記載 令和5年2月に虐待防止会議を実施予定		高齢福祉課 高齢者係	
			関係機関との連携強化	高齢者虐待ネットワーク会議の開催	年1回	年1回							
		② 成年後見制度の利用促進	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける中核機関設置	中核機関の設置	設置	運用	・中核機関等設置準備会議を2回開催 ・令和4年3月31日、亀岡市成年後見制度利用促進事業実施要綱制定及び中核機関設置	B		中核機関運営委員会を設置し、専門機関との連携体制を構築。		高齢福祉課 高齢者係	
			③ 福祉サービス利用援助事業の活用	社会福祉協議会における福祉サービス利用補助事業の活用	実績件数	0件							0件
	④ 消費者被害対策の強化	消費者被害の普及啓発	広報回数	年1回以上	年1回以上		C	コロナ禍のためイベント等が開催されず従来のようにイベント等でのチラシ配布ができなかった。	福祉のつどい(10月16日)でチラシを配布。		高齢福祉課 生活支援係		
				0回	1回								
	(2) 住まいの整備	① 介護保険外入所施設・高齢者向け住宅の充実	軽費老人ホーム、サービス付き高齢者住宅の充実	市内の軽費老人ホーム・サービス付き高齢者住宅の戸数	10戸	10戸		A				高齢福祉課 高齢者係	
			② 住宅のバリアフリー化	-	-							高齢福祉課 高齢者係	
			③ 安全な住まい整備の支援	-	-							高齢福祉課 高齢者係	
			④ 養護老人ホームへの入所措置	養護老人ホームへの入所措置	措置件数	0件	1件		A	措置は令和4年4月22日～令和4年4月30日		高齢福祉課 高齢者係	
	(3) 安全・安心な生活環境づくり	① 災害時における要支援者の避難支援体制の整備	要支援者の避難支援体制の充実	個別避難計画の作成件数	100件	150件	避難行動要支援者名簿掲載者に対して、聞き取りを行い、個別避難計画の作成を推進した。	AA	R2実績42件に対して、R3実績588件と大幅に増えているため。自治会や民生委員等と連携しながら、今後も継続的に作成を進めていく必要がある。	令和5年1月 対象者のデータ更新 令和5年3月 対象者へ確認書類送付、回答集計	令和5年1月にデータ更新をし、3月に対象者への確認書を送付するため、現時点では未定。	地域福祉課	
					588件	未定							
		② 命のカプセル	命のカプセルの普及	命のカプセル新規配布数	700件	700件	民生委員児童委員協議会と契約し、配布を実施	B	中に封入している救急医療情報シートが更新されていない、保管場所が適切でない等、利用に課題がある。今後携帯性が高い形状に変更する等改善を検討する。	民生児童委員協議会と契約し、配布を実施。	令和4年7月に民生児童委員協議会と契約し、配布を実施。実績報告を受ける前のため配布件数未把握。	高齢福祉課 高齢者係	
				命のカプセル(新規配布+情報シート配布)	1,186	9月末時点未把握							
				命のカプセル普及啓発(市広報掲載)	年1回	年1回	市広報誌に掲載	B	市広報誌「広報めおか」に掲載し、周知を行った。				
		③ 交通安全対策の充実	運転免許証の自主返納	自主返納者支援事業申請者数	370件	380件	高齢者による交通事故を防ぐため、70歳以上の高齢者に対し、運転免許証の自主返納を促す取り組みを行っており、交通安全対策として取り組んだ。	A	今後も高齢化の進行が予想される中、一層の高齢者対策が必要となるため。高齢化社会による交通事故防止の観点から今後も自主返納を促す取り組みに努める。	高齢者による交通事故を防ぐため、70歳以上の高齢者に対し、運転免許証の自主返納を促す取り組みを行っており、交通安全対策として取り組んだ。		自治防災課	
高年齢者事故件数	397件			139件(9月末)									
				36件	33件	C							
		46件	未集計										
(4) ミニコミュニティの育成	① ボランティア・NPO活動の促進	-	-										
		② 市民活動団体・組織の育成・支援	高齢者を見守る地域コミュニティの育成	自治会加入世帯数	82.3%	82.3%	自治会活動への参加促進事業 自治会活動の住民への周知事業	B	今後も、自治会加入率維持に向けて、転入者への案内、開発業者への指導により、自治会加入促進を進めていく必要がある。	自治会活動への参加促進事業 自治会活動の住民への周知事業		自治防災課	
					82.10%	未集計							

基本目標	施策の方向	基本施策(活動/アウトプット)	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段:目標値 下段:実績値			令和3年度				令和4年度		担当			
				目標指標	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)(R4実施見込)	実施内容	自己評価	自己評価の理由・課題と対応策	実施内容	特記事項					
基本目標4 介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備	(1) 介護保険サービス	①サービスの質向上に向けた取組	介護サービスの質の確保	地域密着型サービス事業所の実地指導件数	5件	5件		AA		市が指定する地域密着型サービスに対し運営指導を行う。		高齢福祉課 介護事業所係				
					8件	6件										
				集団指導の実施	年1回	年1回							A		市が指定する介護サービス事業者に対し、集団指導を年1回行う。	高齢福祉課 介護事業所係
					年1回	年1回										
				リハビリテーション提供事業所数	15事業所	17事業所							AA		介護サービスの質の向上のため、リハビリテーション提供事業所数を増やす。	高齢福祉課 介護事業所係
					17事業所	17事業所										
			介護支援専門員の質・専門性の向上	居室介護(介護予防)支援事業所の実地指導件数	7件	8件		A		介護支援専門員の質の向上のため指導を行う。	高齢福祉課 介護事業所係					
					7件	3件										
				研修の実施回数	年1回	年1回				A		介護支援専門員の質の向上のため研修を行う。	高齢福祉課 介護事業所係			
			介護人材の確保・育成	介護人材確保助成事業の件数	20件	20件		B	初年度のため申請者が少なかった。助成制度の周知が必要。	介護人材確保のため資格取得の費用を助成。	9月末の実績	高齢福祉課 介護事業所係				
		5件			8件											
		相談窓口の充実	介護相談員の人数	3人	3人		A		介護相談員が介護施設を訪問し入所者等からの相談を受ける		高齢福祉課 介護事業所係					
				3人	3人											
			介護相談員の派遣回数	年72回	年72回		C	コロナ禍で実施できなかった。実施方法の検討が必要。		新型コロナウイルス感染症感染予防のため施設への訪問中止	高齢福祉課 介護事業所係					
				0回	0回											
		介護離職ゼロに向けた取組	特養待機者の減少	60人	50人		A		特養待機者を減らし、介護離職ゼロを目指す。	5月末現在	高齢福祉課 介護事業所係					
				68人	55人											
		介護給付適正化の推進	要介護認定の委託調査の事後点検	全件実施	全件実施		A		介護給付適正化のため要介護認定の委託調査の事後点検を行う		高齢福祉課 介護事業所係					
				全件実施	全件実施											
			ケアプラン点検の件数	21件	24件		AA		介護給付適正化のためケアプランの点検を行う		高齢福祉課 介護事業所係					
48件	33件															
住宅改修・福祉用具の点検	全件実施		全件実施		A		介護給付適正化のため住宅改修・福祉用具の点検を行う		高齢福祉課 介護事業所係							
	全件実施		全件実施													
縦覧点検・医療情報との実合	全件実施	全件実施		A		介護給付適正化のため縦覧点検・医療情報との実合点検を行う		高齢福祉課 介護事業所係								
	全件実施	全件実施														
介護給付費通知	年1回	年1回		A		介護給付適正化のため介護給付費通知を行う	2月に通知予定	高齢福祉課 介護事業所係								
	年1回	年1回														
②防災・感染症対策の推進	事業所において非常災害対策計画の策定	策定率	100%	100%		A	事業所において非常災害対策計画の策定		高齢福祉課 介護事業所係							
			100%	未集計												
	事業所において避難訓練の実施	実施率	100%	100%		A	事業所において避難訓練の実施		高齢福祉課 介護事業所係							
			100%	未集計												
基本目標4 介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備	(2) 高齢者福祉サービス	①高齢者福祉サービスの整備	寝具洗濯乾燥消毒事業	実施件数	3件	1件(9月末時点)	・わたり状態や尿失禁により、寝具の衛生管理が困難な高齢者に、寝具の洗濯乾燥消毒サービスを行う。	B		わたり状態や尿失禁により、寝具の衛生管理が困難な高齢者に、寝具の洗濯乾燥消毒サービスを実施		高齢福祉課 高齢者係				
			緊急通報装置設置事業	新規設置件数	27件	12件(9月末実績)	緊急通報装置一式の設置。緊急通報がなされた場合はセコムの緊急要員が高齢者の自宅に急行する。	B		ひとり暮らし高齢者等の見守りサービス		高齢福祉課 高齢者係				
			高齢者自立支援住宅改修費助成金交付事業	交付件数	0件	0件	介護保険の認定を受けていない人を対象に、住宅改修の費用を助成する。	B		介護保険の認定を受けていない人を対象に、住宅改修の費用を助成する。		高齢福祉課 高齢者係				
			福祉電話設置事業	設置件数	1件	1件(9月末時点)		B					高齢福祉課 高齢者係			
			高齢者ごみ出し支援事業の構築	進捗状況	車両購入	10件(見込)	・支援用ダンプを購入済み。	B	・対象者(基準)の選定 ・費用負担の有無等調整	ごみ出しが困難な世帯に対し、戸別収集を実施する。必要に応じて安否確認を実施。	令和4年7月より申請受付開始	資源循環推進課				
			介護用品支給事業	支給件数	14件	18件(8月末時点)	亀岡市在宅わたり老人等介護用品支給事業を実施	B		亀岡市在宅わたり老人等介護用品支給事業を実施		高齢福祉課 生活支援係				
			認知症高齢者等居場所確認専用端末機貸与事業	貸与件数	1件	1件	0件	B	携帯電話普及に伴い、GPS機能を携帯電話に付加することができるようになり、認知症という疾患の特性上勇気になってから新たな機器を携帯することの難しさから、利用できる人が限られている現状がある。			健康増進課 健康予防係				
			在宅高齢者介護激励金支給事業	支給件数	0件	0件(9月末)	申請無し	B		申請無し(9月末時点)		高齢福祉課 高齢者係				
			家族介護慰労金支給事業	支給件数	0件	0件(9月末)	申請無し	B		申請無し(9月末時点)		高齢福祉課 高齢者係				
			認知症等高齢者の事前登録制度事業	新規登録件数	11件	40件	29件	B	行方不明者を早期発見・日常生活の安全確保ができるようにした。関係機関との連携を図り、早期発見ができるシステムづくりを推進した。			健康増進課 健康予防係				
			②高齢者福祉サービスの周知活動の実施	サービスガイドブックの作成	配布冊数/作成冊数	870冊/1,000冊	800冊/1,100冊(9月末実績)	高齢者福祉サービスの広報誌として、ガイドブックを作成し、関係機関に配布及び窓口を設置した。	B		高齢者福祉サービスを紹介したガイドブックの作成、配布		高齢福祉課 高齢者係			



【資料 2 - 1 別紙】

自己評価：4段階評価

評価区分	AA	成果あり。計画策定時より大きく改善。	数値目標に挙げている指標の実績が前年度比+10%以上
	A	成果あり。計画策定時に比べ少し改善。	数値目標に挙げている指標の実績が前年度比+5%以上10%未満
	B	成果はどちらとも言えない。変化なし。	数値目標に挙げている指標の実績が前年度比-5%以上+5%未満
	C	成果なし、取組が不十分・未実施。	数値目標に挙げている指標の実績が前年度比-5%未満

・自己評価の理由

評価区分でC評価、評価に関する特記事項がある場合のみ記入

亀岡市いきいき長寿プラン 第8期 基本施策の進捗状況（概要）

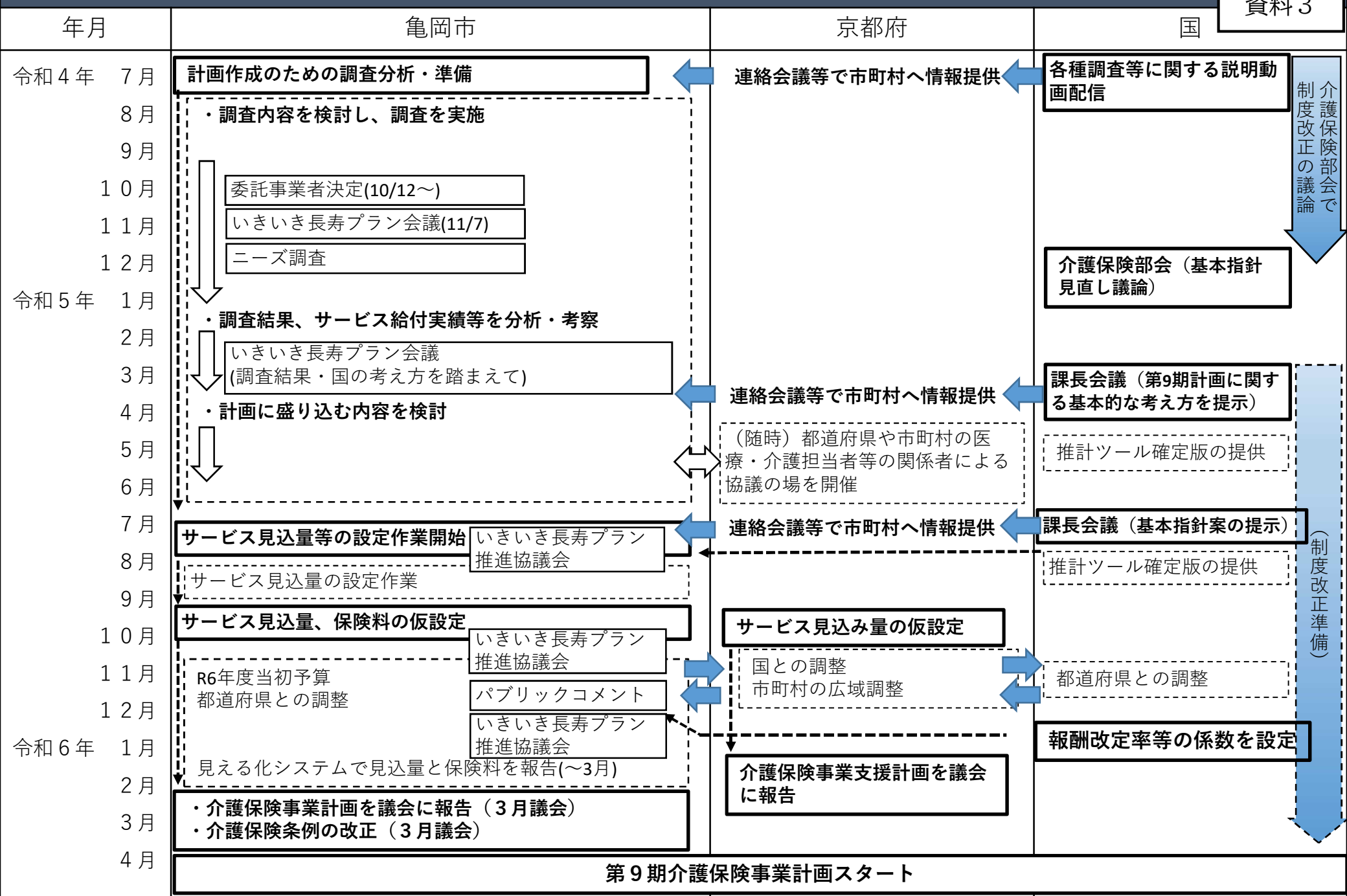
	施策の方向	令和3年度 評価概要	評価の理由等
基本目標1	(1)相談体制・支援体制の強化	B 7項目 (7項目中)	概ね計画どおり進捗
	(2)生活支援体制整備の推進	B 4項目 (4項目中)	R3年度は全項目で数値目標を達成 R4年度についても概ね達成見込み
	(3)認知症施策の推進	A 3項目 B 7項目 (10項目中)	R3年度は多くの項目で数値目標未達成となっているが、新型コロナウイルス感染症とそれに伴う緊急事態宣言によるもの。 前年対比では改善傾向。
	(4)在宅医療・介護の連携推進	A 1項目 B 2項目 C 1項目 (4項目中)	R3年度は新型コロナウイルス感染症とそれに伴う緊急事態宣言により一部未達成
基本目標2	(1)介護予防・日常生活支援 総合事業の推進	A 2項目 B 4項目 (6項目中)	R3年度については新型コロナウイルス感染症の影響があったが概ね達成。R4年度については目標数値を概ね達成する見込み。 前年対比では改善傾向。
	(2)健康づくりの推進と 介護予防の一体的な実施	A 1項目 B 3項目 (4項目中)	R3年度については新型コロナウイルス感染症の影響があったが概ね達成。R4年度については目標数値を概ね達成する見込み。
	(3)高齢者の活動支援 (生きがいづくり)	AA 1項目 A 1項目 B 2項目 C 2項目 (6項目中)	R3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により達成できなかったものもあったが、R4年度は影響が縮小し改善見込み。
基本目標3	(1)権利擁護の促進	A 1項目 B 1項目 C 1項目 (3項目中)	概ね目標数値を達成。
	(2)住まいの整備	-	目標数値設定なし（※1）

	(3)安全・安心な生活環境 づくり	AA 1項目 A 1項目 B 3項目 C 1項目 (6項目中)	概ね目標数値を達成。
基本 目標 4	(1)介護サービス	AA 3項目 A 11項目 B 1項目 C 1項目 (16項目中)	概ね目標数値を達成しているが、一部新型コロナウイルス感染症の影響等により未達成。
	(2)高齢者福祉サービス	-	目標数値設定なし(※1)

※1 実施件数等が多ければ進捗率が高いと単純に評価できない項目であるため、または目標数値を設定することが適切でない項目のため、目標数値の設定をしていない。

# 【参考1】第9期プラン策定の調査から計画作成までのスケジュール（案）

資料3



介護保険部会で  
制度改正の議論

(制度改正準備)

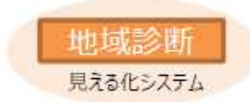
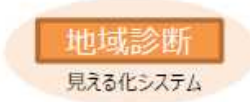
# 令和4年度高齢者等実態調査について

高齢福祉課



## 第9期に向けた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査項目は、第8期から変更ない。調査の実施の手引きを参考にして実施いただきたい。
- 調査結果は、地域包括ケア「見える化」システムに登録することにより、経年比較や他地域との地域間比較が可能となることから、データの登録をお願いしたい。

名称		(第7期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第8・9期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的 (調査票の作成段階での想定)		<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、<b>地域診断</b>に活用し、地域の抱える課題を特定すること</li> <li>新しい介護予防・日常生活支援総合事業の管理・運営に活用すること</li> <li>介護保険事業計画における新総合事業部分の策定に活用すること</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、<b>地域診断</b>に活用し、地域の抱える課題を特定すること</li> <li>介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>
調査対象		要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数		必須項目33問(見える化への登録、地域診断の活用を想定) オプション項目30問	必須項目35問 オプション項目29問
設問の内容	「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したものの「虚弱」高齢者を把握する項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動器の機能低下</li> <li>低栄養の傾向</li> <li>口腔機能の低下</li> <li>閉じこもり傾向</li> <li>認知機能の低下</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>IADL／転倒リスク</li> </ul>
	「社会資源」等の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア等への参加頻度</li> <li>地域づくりへの参加意向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たすけあいの状況</li> <li>主観的幸福感 等</li> </ul>
	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症にかかる相談窓口の認知度</li> </ul>
標準的な実施方法		「実施の手引き」の提示	「実施の手引き」「活用の手引き」の提示
見える化システムへの登録		あり(標準的な実施方法により得られた必須項目への回答)	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)

## 第9期に向けた在宅介護実態調査の実施

- 在宅介護実態調査の調査項目は、第8期から変更ない。調査の実施の手引き等を参考にして実施いただきたい。
- 調査結果は、地域包括ケア「見える化」システムに登録することにより、経年比較や他地域との地域間比較が可能となることから、データの登録をお願いしたい。

### <在宅介護実態調査の概要>

事項	内容
目的	第7から期介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「 <u>高齢者等の適切な在宅生活の継続</u> 」と「 <u>家族等介護者の就労継続</u> 」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする
対象者	主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方
調査手法	認定調査員による聞き取り調査、郵送調査(接続方式・非接続方式)からメリット・デメリットを踏まえ選択
調査項目	必須+オプション A票:ご本人むけ 問1~14 B票:主な介護者むけ 問1~5 ※自治体が調査項目を減らす場合であっても必要不可欠な5項目を抽出(注)。
支援ツール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護実態調査 実施のための手引き</li> <li>・在宅介護実態調査 活用のための手引き</li> <li>・在宅介護実態調査の自動集計ツール_認定ソフト2021対応版</li> </ul> ※令和5年1月頃提供予定

(注)認定調査員の負担を軽減するため、仮に自治体において調査項目を減らす場合であっても、次の5項目は、介護する家族の負担感を把握するために必要不可欠であるため、調査項目として設定することが望ましいとしている。

A票 問1 世帯類型

B票 問1 介護者の勤務形態

A票 問2 介護者の介護の頻度

B票 問4 介護者の就労継続の見込み

A票 問10 施設等検討の状況

# 令和4年度亀岡市高齢者等実態調査の実施について

## 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

**調査の目的** 総合事業の進捗管理・事業評価のために必要な地域診断を行う(地域課題の特定)

**調査対象者** 亀岡市の65歳以上の高齢者で要介護1～5までの認定を受けていない者

**調査方法** 郵送によるアンケート

**対象者数** 3,500人(サンプル予定数 2,100人(回収率60%))

## 2 在宅介護実態調査

**調査の目的** 要介護者の在宅生活の継続・介護者の就労継続に有効な介護サービスの検討

**調査対象者** 市内の在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている者(及びその介護をしている家族)

**調査方法** 認定調査員による聞き取り及び郵送によるアンケート

**対象者数** 郵送600人(サンプル予定数 360人(回収率60%))、聞き取り50人(予定数)

## 高齢者等実態調査・調査業務スケジュール

日 程	業 務 内 容
令和4年 11月初旬	市民への周知(広報かめおか11月1日号) 調査方法・内容の検討
// 11月中旬	対象者の抽出 調査票の発送(11月1日現在で調査)
// 11月下旬	調査票の発送(11月1日現在で調査)
// 12月	調査票の回収
// 12月下旬～ 令和5年 1月	調査票の集計及び分析 調査報告書の作成
令和5年 2月	調査報告書(電子データ)納品、業務完了

【資料5】

【資料5－1】第8期計画策定時の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票  
国が示した必須項目とオプション項目に亀岡市独自項目を加えたもの。  
オレンジ色のマーカーで印がついている項目が亀岡市の独自質問項目。

【資料5－2】第8期計画策定時の在宅介護実態調査票  
国が示した必須項目とオプション項目。独自質問項目なし。



亀岡市 高齢者等実態調査（令和元年度）  
【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査票】  
【後期高齢者実態把握調査票】

日頃は、亀岡市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、3年に一度「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行い、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおります。また、介護予防・重度化防止に向け、後期高齢者の実態把握を行い、フレイル対策等の調査研究を実施しています。

このたび、本市にお住まいの令和元年11月1日現在で65歳以上の方から、無作為に選んだ皆様を対象に、現在の心身状況や、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えをお聞かせいただくため、健康や日常生活に関する調査を実施します。調査結果は、令和2年度に策定する高齢者福祉計画及び介護保険事業計画並びに後期高齢者に係る調査研究の基礎資料として活用させていただきます。

なお、ご記入いただきました内容は、本調査以外の目的に使用いたしません。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

亀岡市 健康福祉部 高齢福祉課

記入に際してのお願い

- ご回答にあたっては封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族の人等がご本人の立場にたって回答されてもかまいません。
- ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。数字を記入する欄は右詰め（例 

	6	2
--	---	---

 kg）でご記入ください。
- とくに断りの無い場合は選択肢の1つに○をつけてください。  
「○はいくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
- 調査票記入後は3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、  
**12月16日（月）**までに投函してください。
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

亀岡市高齢福祉課 高齢者係

【電話】0771-25-5032（直通）

## 個人情報 の 取 り 扱 い に つ い て

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

### 【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価並びに後期高齢者の生活状況の把握のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定並びに後期高齢者に係る調査研究の目的以外には利用いたしません。また当該情報については適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

### ★まずはじめに、以下のご記入をお願いします。

記 入 日	令和 年 月 日
-------	----------

#### 調査票を記入されたのはどなたですか

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 \_\_\_\_\_）



あて名のご本人が回答できない主な理由は何ですか（1つに○）

1. 身体的状況    2. 施設入院・入所    3. 転居    4. その他（ \_\_\_\_\_ ）

3. その他の人（具体的に： \_\_\_\_\_）

#### あて名のご本人の性別

1. 男                      2. 女

#### あて名のご本人の年齢

1. 65歳～69歳    2. 70歳～74歳    3. 75歳～79歳  
4. 80歳～84歳    5. 85歳～89歳    6. 90歳以上

## 問 1 あなたの家族や生活状況について

### (1) 家族構成をお教えてください

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ ）

### (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3) へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

#### 【(2)で「2.」または「3.」(何らかの介護・介助が必要)と回答の方のみ】

#### (2)-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（〇はいくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他（ \_\_\_\_\_ ）
15. 不明

#### 【(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方のみ】

#### (2)-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか（〇はいくつでも）

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他（ \_\_\_\_\_ ）

### (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

### (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（集合住宅）
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
6. 借家
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ ）

### (5) 6歳～30歳の間で、学校に通っていたのは合計で何年ですか

（小学・中学・高校・大学など） 合計 \_\_\_\_\_ 年間 （※数字を記入）

## 問 2 からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

<b>(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか</b>			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
<b>(3) 15分位続けて歩いていますか</b>			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
<b>(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか</b>			
1. はい	2. いいえ		
<b>(5) 過去1年間に転んだ経験がありますか</b>			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
<b>(6) 転倒に対する不安は大きいですか</b>			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
<b>(7) 週に1回以上は外出していますか</b>			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
<b>(8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか</b>			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
<b>(9) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか</b>			
1. はい	2. いいえ		
<b>(10) 外出を控えていますか</b>			
1. はい ⇒ (10)-1 へ	2. いいえ ⇒ (11) へ		
<b>【(10)で「1. はい」(外出を控えている)と回答の方のみ】</b>			
<b>(10)-1 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)</b>			
1. 病気	2. 障害 (脳卒中の後遺症など)		
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)		
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害		
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない		
9. 交通手段がない	10. その他 ( )		
<b>(11) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)</b>			
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車	
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー	
13. その他 (具体的に: )			
<b>【(11)で「7. 路線バス」または「12. タクシー」と回答の方のみ】</b>			
<b>(11)-1 バスやタクシー乗車の際、敬老乗車券を利用していますか</b>			
1. バスで利用	2. タクシーで利用	3. バス・タクシーで利用	4. 利用していない

### 問3 食べることについて

(1) 身長・体重を記入ください

身長

--	--	--

cm

体重

--	--	--

kg

(2) 食事は自分で食べられますか

1. できる      2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる      3. できない

(3) 1日3食きちんと食べていますか

1. はい      2. いいえ

(4) 最近、食欲はありますか

1. はい      2. いいえ

(5) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい      2. いいえ

(6) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい      2. いいえ

(7) 口の渇きが気になりますか

1. はい      2. いいえ

(8) 歯磨き（人にやってもら場合も含む）を毎日していますか

1. はい      2. いいえ

(9) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用      2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用      4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(9)-1 噛み合わせは良いですか

1. はい      2. いいえ

【(9)で「1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答の方のみ】

(9)-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい      2. いいえ

(10) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい      2. いいえ

(11) どなたかと食事をとる機会がありますか（1つに○）

1. 毎日ある      2. 週に何度かある      3. 月に何度かある  
4. 年に何度かある      5. ほとんどない



#### 問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1. はい 2. いいえ

(3) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか

1. はい 2. いいえ

(4) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい 2. いいえ

(5) バスや電車を使って1人で外出していますか (※自家用車でも可)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(10) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか

1. はい 2. いいえ

(11) 新聞を読んでいますか

1. はい 2. いいえ

(12) 本や雑誌を読んでいますか

1. はい 2. いいえ

(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか

1. はい 2. いいえ

(14) ふだんから家族や友人と付き合いがありますか

1. はい 2. いいえ

(15) 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか

1. はい 2. いいえ

<b>(16) 友人の家を訪ねていますか</b>		
1. はい	2. いいえ	
<b>(17) 家族や友人の相談にのっていますか</b>		
1. はい	2. いいえ	
<b>(18) 病人を見舞うことができますか</b>		
1. はい	2. いいえ	
<b>(19) 若い人に自分から話しかけることがありますか</b>		
1. はい	2. いいえ	
<b>(20) 自分でトイレができますか</b>		
1. できる	2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる	3. できない
<b>(21) 自分で入浴ができますか</b>		
1. できる	2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる	3. できない
<b>(22) 自分で着替えができますか</b>		
1. できる	2. 介助があればできる	3. できない
<b>(23) 趣味はありますか</b>		
1. 趣味あり（具体的に： _____）	2. 思いつかない	
<b>(24) 生きがいはありますか</b>		
1. 生きがいあり（具体的に： _____）	2. 思いつかない	

## 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください

	週4回 以上	週 2～3回	週1回	月 1～3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (地域のサロンなど) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)

- |               |               |                   |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人  | 2. 幼なじみ       | 3. 学生時代の友人        |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 (具体的に: | )             | 8. いない            |

## 問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つに○)

- |          |         |            |         |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) 毎日の生活に満足していますか (1つに○)

- |       |         |         |       |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

(3) あなたは、現在どの程度幸せですか

(※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください)

(とても不幸) ←—————→ (とても幸せ)  
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 平均的な1日に、睡眠時間は十分にとれていますか

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) お酒は飲みますか (1つに○)

- |           |         |             |             |
|-----------|---------|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 2. 時々飲む | 3. ほとんど飲まない | 4. もともと飲まない |
|-----------|---------|-------------|-------------|

(8) タバコは吸っていますか (1つに○)

- |              |            |              |               |
|--------------|------------|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている | 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |
|--------------|------------|--------------|---------------|

(9) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない                | 2. 高血圧                   |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)    | 4. 心臓病                   |
| 5. 糖尿病               | 6. 高脂血症 (脂質異常)           |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気          |
| 9. 腎臓・前立腺の病気         | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等)      | 12. がん (悪性新生物)           |
| 13. 血液・免疫の病気         | 14. うつ病                  |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等)  | 16. パーキンソン病              |
| 17. 目の病気             | 18. 耳の病気                 |
| 19. その他 (具体的に:       | )                        |

(10) 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか (1つに○)

1. 在宅 (自宅・子どもの家・兄弟親族の家等)
2. 在宅に準ずる施設 (サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム等)
3. 介護保険施設 (特別養護老人ホーム、老人保健施設等)
4. 病院等医療施設
5. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)

(11) 以下の5つの項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものに○をつけてください (1つの質問につき、1つだけ○)

	まったく ない	ほんの ために	半分以下 の期間を	半分以上 の期間を	ほとんど いつも	いつも
① 明るく、楽しい気分で過ごした	1	2	3	4	5	6
② 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	1	2	3	4	5	6
③ 意欲的で、活動的に過ごした	1	2	3	4	5	6
④ ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた	1	2	3	4	5	6
⑤ 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	1	2	3	4	5	6

## 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい
2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい
2. いいえ

## 問9 介護保険サービスについて

(1) あなたの介護保険料についての経済的負担感はどうですか (1つに○)

1. 負担は感じない
2. この程度ならよい
3. やや負担が大きい
4. 負担が大きい

(2) サービス利用に伴う自己負担分について経済的負担感はどうですか (1つに○)

1. 負担は感じない
2. この程度ならよい
3. やや負担が大きい
4. 負担が大きい
5. サービスを利用していない

(3) あなたの介護サービスの利用について、どのようにお考えですか (1つに○)

1. できるだけ家族や自分で対応すべきであり、介護サービスには頼らない
2. 家族、自分、ボランティアや地域の人の方でも足りない部分を介護サービスで補ってほしい
3. 家族や自分だけでは対応できない部分については、介護サービスを利用したい
4. 介護サービスを利用する権利があるのだから、できるだけ利用したい
5. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)



**(4) あなたは、介護サービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか (1つに○)**

介護保険料は、市全体の状況や実績から決定しています。介護サービスを充実させるほど保険料は高くなり、逆に保険料を下げれば介護サービスの水準が下がります。

1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい ⇒ (4)-1、(4)-2 へ
2. 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい ⇒ (4)-3 へ
3. サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい ⇒ (4)-3 へ
4. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_) ⇒ 次の(5) へ

**【(4)で「1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」と回答の方のみ】**

**(4)-1 施設や介護サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額 (現在 月 5,196 円) は、いくらが適当だと思いますか (1つに○)**

1. 月 5,196 円～5,500 円未満
2. 月 5,500 円～6,000 円未満
3. 月 6,000 円～7,000 円未満
4. 月 7,000 円～8,000 円未満
5. 月 8,000 円以上
6. わからない

**【(4)で「1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」と回答の方のみ】**

**(4)-2 施設や在宅サービスの量を増やすとしたら、最も希望するのはどのサービスですか (○は最も希望するもの1つだけ)**

1. 施設サービス (特別養護老人ホーム、老人保健施設等)
2. 訪問サービス (訪問介護 (ホームヘルパーの訪問)・訪問入浴・訪問看護 (看護師の訪問))
3. 通所サービス (通所系サービス (通所介護 (デイサービス)・通所リハビリ))
4. 短期入所生活介護 (ショートステイ) …介護者の不在等により一時的に施設に入所することができるサービス
5. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) …認知症の人が介護を受けながら共同生活を送る施設

**【(4)で「2. 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい」または「3. サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい」と回答の方のみ】**

**(4)-3 施設や在宅サービスの中で、なくなると最も困るサービスは何ですか (○は最も困るもの1つだけ)**

1. 施設サービス (特別養護老人ホーム、老人保健施設等)
2. 訪問サービス (訪問介護 (ホームヘルパーの訪問)・訪問入浴・訪問看護 (看護師の訪問))
3. 通所サービス (通所系サービス (通所介護 (デイサービス)・通所リハビリ))
4. 短期入所生活介護 (ショートステイ) …介護者の不在等により一時的に施設に入所することができるサービス
5. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) …認知症の人が介護を受けながら共同生活を送る施設



# 亀岡市 高齢者等実態調査（令和元年度）

## 【在宅介護実態調査票】

日頃は、亀岡市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、3年に一度「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行い、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおります。

このたび、本市にお住まいの在宅で生活をしている要支援、要介護認定を受けている方のうち、今年度に認定の更新や区分変更をされる方を対象に、現在の心身状況、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えや介護者の方に関する日常生活についてお聞かせいただき調査を実施します。調査結果は、高齢者等の適切な在宅生活の継続と家族等介護者の就労継続に向けて、介護サービスのあり方を検討する基礎資料として活用させていただきます。

なお、ご記入いただきました内容は、本調査以外の目的に使用いたしません。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

亀岡市 健康福祉部 高齢福祉課

### 記入に際してのお願い

- ご回答にあたってA票は、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族の人等がご本人の立場にたって回答されてもかまいません。  
B票は、主たる介護者の方がお答えください。
- ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。
- とくに断りの無い場合は選択肢の1つに○をつけてください。  
「○はいくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
- 調査票記入後は3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、  
**12月26日（木）**までに郵便ポストに投函してください。
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

亀岡市高齢福祉課 高齢者係 【電話】0771-25-5032（直通）

### 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

#### 【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、調査目的以外には利用いたしません。また当該情報については適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

まずはじめに、『A票』にご回答いただくのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人       | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー    |
| 5. その他 ( )       |                     |

## A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つに〇)

- |         |           |            |
|---------|-----------|------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 ( ) |
|---------|-----------|------------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)は、週にどのくらいありますか(1つに〇)

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1. ない ⇒ 次のページの間8へ          | } ⇒ 問3へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない |         |
| 3. 週に1~2日ある                |         |
| 4. 週に3~4日ある                |         |
| 5. ほぼ毎日(週5日以上)ある           |         |

【問3~問7は、問2で「2.」~「5.」のいずれかと回答した方(ご本人が介護を受けている場合)のみ】

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つに〇) ※ ご本人からみた続柄でお答えください

- |        |          |            |
|--------|----------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者   |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 ( ) |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つに〇)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つに〇)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満  | 2. 20~29歳 | 3. 30~39歳 |
| 4. 40~49歳 | 5. 50~59歳 | 6. 60~69歳 |
| 7. 70~79歳 | 8. 80歳以上  | 9. わからない  |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（〇はいくつでも）

〔身体介護〕	1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
〔生活援助〕	12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕	15. その他（ <span style="float: right;">）</span> 16. わからない

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事（自営業や農林水産業を含む）を辞めた方はいますか（〇はいくつでも）

※ 現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない
--

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

※ 総合事業に基づく支援・サービスは含みません（介護保険サービスに含めるため）

1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物（宅配は含まない） 5. ゴミ出し 6. 外出同行（通院、買い物など） 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場 10. その他（ <span style="float: right;">）</span> 11. 利用していない
---







- “A票”の問2で「2.」～「5.」を選択された場合（ご本人が介護を受けている場合）は、「主な介護者」の方に以下の“B票”へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします。

## B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

※『パートタイム』とは、“1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方”が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます

※自営業・フリーランス等の場合も、就労時間等から「1.フルタイム」「2.パートタイム」のいずれかを選択してください

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイムで働いている</li> <li>2. パートタイムで働いている</li> <li>3. 働いていない</li> <li>4. 主な介護者に確認しないと、わからない</li> </ol>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">⇒ 問2-1～問2-3についてお答えください</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">⇒ 次のページの間3へ</div> </div>
---	--

【問2-1～問2-3は、問1で「1.フルタイム」または「2.パートタイム」で働いていると回答した方のみ】

問2-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（○はいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特に行っていない</li> <li>2. 介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている</li> <li>3. 介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている</li> <li>4. 介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている</li> <li>5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている</li> <li>6. 主な介護者に確認しないと、わからない</li> </ol>
--

問2-2 主な介護者の方は、勤め先から特にどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は主なもの3つまで）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない</li> <li>2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実</li> <li>3. 制度を利用しやすい職場づくり</li> <li>4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）</li> <li>5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）</li> <li>6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供</li> <li>7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置</li> <li>8. 介護をしている従業員への経済的な支援</li> <li>9. その他（<span style="float: right;">）</span></li> <li>10. 特にない</li> <li>11. 主な介護者に確認しないと、わからない</li> </ol>
---

問2-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

※全員の方にお伺いします。

問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安を感じる介護等について、ご回答ください（○は主なもの3つまで） ※現状で行っているか否かは問いません

〔身体介護〕	1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
〔生活援助〕	12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕	15. その他（ 16. 不安に感じていることは、特にな 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■



# 亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会委員名簿

(令和4年7月1日～令和6年6月30日：敬称略)

所属	団体名	委員名	備考
学識経験者	天理大学	松田 美智子	
保健、医療、福祉等	亀岡市医師会	河野 秀彦	新任
保健、医療、福祉等	亀岡市歯科医師会	荻野 茂	新任
保健、医療、福祉等	亀岡市薬剤師会	山口 徳人	
保健、医療、福祉等	亀岡市社会福祉協議会	高橋 依子	
保健、医療、福祉等	亀岡市民生委員児童委員協議会	中川 國彦	
保健、医療、福祉等	公益社団法人 亀岡市シルバー人材センター	大西 利幸	
保健、医療、福祉等	社会福祉法人 利生会	細川 景子	
保健、医療、福祉等	社会福祉法人 友愛会	前渕 功	
保健、医療、福祉等	亀岡ボランティア連絡協議会	中島 三羊子	新任
保健、医療、福祉等	亀岡市老人クラブ連合会	林 昭	
市民代表	亀岡市自治会連合会	小林 仁	新任
市民代表	市民代表	谷奥 正憲	
市民代表	市民代表	上田 賢	新任
行政機関	京都府南丹広域振興局	川勝 律子	新任

(令和4年7月1日現在)